

グッとくる山陰

2020 Winter 冬

ご自由にお持ち帰りください

[特集]

鳥取県は星の見えやすさ全国一!

満天の星が
手に取るように
広がる県。

[山陰の逸品]

心の中まで温まる
星取県産の綺羅星

[グッとくるコラム]

宇宙を知ること
自分を知ること

織部 隆明



【表紙写真】鳥取砂丘

宇宙を知る
ことは
自分を知る
こと



織部 隆明
おりべ たかひろ

鳥根県松江市出身。1994年より、鳥取市さじアストロパーク職員。「宇宙を知ること」は自分を知ること」をモットーに、教育活動をおこなっている。観測では、4つの彗星の世界初検出に成功しており、小惑星7489は「Oribe」と命名されている。

星や宇宙の話題は、「遠い世界のこと」で、自分には関係ない」と思われる方が多いと思います。しかし、宇宙のことを知ると、逆に自分や身近なことが良く見えてきます。

身のまわりに当たり前にある「空気」。しかし、広い宇宙に空気はありません。空気が吸えないと、私たちの命はたった3分で危険な状態になります。そして「水」。水と言えば、ちやばちやぼした液体の水を思い浮かべますが、宇宙にある水は氷か水蒸気で、液体の水はとても珍しいのです。そんな珍しい液体の水が、地球の表面の7割を覆っています。こんな変わった星は、広い宇宙の中で今のところ他に見つかっていません。

さらに、夏は暑くて冬は寒いですが、地球を飛び出せば、日なたは100度、日かげはマイナス100度で、とても生きていきません。

このように、当たり前だと思っていることを宇宙にまで広げると、ぜんぜん当たり前でないことがわかります。身のまわりの事だけを見ていると気づきませんが、私たちは宇宙の中の楽園のようなところに暮らしているのです。

このような気づきが、宇宙のことを学んで知る意味だと思えます。皆さんも星空を見上げ、宇宙を知り、身近なことを考えてみてくださいね。

山陰を走る観光列車「あめつち」

【運行区間】山陰本線(鳥取⇄出雲市)

	鳥取	倉吉	米子	安来	松江	出雲市
【下り】 鳥取→出雲市	9:00発	9:44発	11:03発	11:15発	11:45発	12:31着
【上り】 出雲市→鳥取	13:44発	14:30発	14:47発	15:22発	15:35発	16:36発

- 土休日を中心に、鳥取～出雲市間を1日1往復運転します。
- 乗車券の他に普通列車の指定席グリーン券が必要です。(全車指定席)
- ご利用料金の例(大人お一人様・運賃・料金合計):
[鳥取～出雲市] 4,630円、[鳥取～米子] 2,690円、
[米子～出雲市] 2,170円、[松江～出雲市] 1,370円

※運転日、お食事のお申し込み方法など詳しくは [観光列車の検時間](#) [検索](#)

グッとくる山陰 冬号

発行元/JR西日本米子支社 鳥取県米子市弥生町2
☎0859-32-0255 *記載の情報は、2020年12月1日時点のものです。



あなたの知らない山陰、更新中。
山陰いいもの [検索](#) 右記コードからサイトへGO! →



満天の星が

鳥取県は星の見えやすさ全国一！

日本に「星取県」と呼ばれる県があること、ご存じですか？

それは、鳥取県の別称で、全国一星空が美しく見える県と評価されて、星取県と名告ることを宣言しています。

観光名所を巡り、夜になって飲食が終われば、

ゆったり温泉に入って眠りにつくのが旅の定番なら、

星取県は、ある意味、ここからクライマックス。

ぜひとも、すっきりと晴れた夜空に目を向けてみてください。

頭上には、生まれて初めて体験するような

圧倒的な星空が広がっているかもしれませんから。

手に取るように

鳥取県は

「星取県」と名告る

ことにしました。

都道府県で初めて

「星空保全条例」を

制定しました。

かつて環境省は、1988年度から2012年度までの毎年夏と冬の2回、全国星空継続観察（スターウォッチング・ネットワーク）を実施していました。この観察で、過去10年間20回のうち、鳥取県は計12回「全国一星が見えやすい県」に輝いています。

この結果を受けて、鳥取県は星取県と名告ることを宣言しました。満天の星が手に取るように夜空に広がる星取県では、県内のどの市町村からでも天の川が観察できるといふ星空環境を誇っています。

星空継続観察における鳥取県の定点観測地は、手つかずに近い自然の森の中に建つ「鳥取市さじアストロパーク」。人工物がほとんど視界に入らない標高約400mの高台に、1994年（平成6年）7月オープンした公開天文台です。国内屈指の103cm反射望遠鏡やプラネタリウム、太陽望遠鏡に星や宇宙のさまざまな展示物に加えて、コンピュータで天体の自動導入ができる本格的な望遠鏡を完備した宿泊施設を持つ、世界的にも珍しい施設。愛称を「宙の駅」という、鳥取県を象徴するアカデミックで魅力的なスポットです。

鳥取県の人口は約55万人（令和2年10月1日現在）と、全国で一番少ない県。それが、都市部に比べて大気環境が清浄で、空の広さをさえぎる高層ビルや、ネオン・照明などの光害も少ないことにつながっています。つまりそれは、全国一空が広く、全国一暗い夜空だから、全国一星が見えやすい県というわけです。さらに、鳥取県は年間の降水量が多く、空気中のホコリなどを雨が洗い流してくれることも、ひとつの要因となっているようです。

こうして、さまざまな条件がひとつになって生まれた美しい星空環境という財産を、後世まで永く伝え残そうと、2018年（平成30年）4月、「鳥取県星空保全条例」が制定されました。条例の概要は次のとおり。「光害防止に努めること」、「サーチライト等の投光器やレーザーについて、特定の対象物を照らす目的以外での使用を禁止する」、「星空環境や光害防止に関する普及啓発を実施する」というものです。

さじアストロパーク

国内屈指の天体望遠鏡や宿泊施設の他、展示・体験コーナー、星や宇宙に関する書籍を集めた図書なども充実し、営業日には天候に関わらず毎日イベント（プラネタリウム、夜間観望会）を実施。ショップでは隕石や宇宙食など珍しいお土産も販売。鳥取県鳥取市佐治町高山1071-1
アクセス：JR用瀬駅より車で約20分
またはJR鳥取駅から車で約40分
お問い合わせ：TEL0858-89-1011



愛媛県松山市のプラネタリウム解説員を経て、鳥取県佐治村（現鳥取市）が建設中であったさじアストロパークの主任研究員として1993年に採用され、天文台建設の準備段階から関わる。天文指導や普及活動、小惑星の捜索などをおこない、同天文指導係長、副所長を経て、2018年より所長。現在は、さじアストロパークを「宙の駅」として商標登録をおこなうなど星空の拠点作りに取り組んでいる。香川県出身。



監修 山西 正博
やまし まさひろ

星取県と 宇宙には不思議な 縁がありました。

2020年の今年、ノーベル物理学賞を受賞したのは、宇宙空間に巨大なブラックホールが存在することを証明した英米3人の研究者でした。人類が宇宙についてわかっていることは、全体のほんのわずか数%なんだとか。謎だらけだからこそ、人々は近づきたいと願っているのでしょうか。

では、そんな宇宙と鳥取県には、星空以外にも不思議な縁があること、ご存じでしょうか。それは、2007年にスタートした、世界初の民間による月面無人探査の国際レース。アメリカ、ドイツ、イタリアなど世界から34チームがエントリーし、当時、世界的に盛り上がりを見せていたこのレースに、日本から唯一挑戦したチームHAKUTO（ハクト）がいたことを覚えている方も多いはず。

このHAKUTOというチーム名は、月にはうさぎがいるという日本古来の伝承と、鳥取県が舞台の神話「因幡の白うさぎ（白兔伝説）」が由来になっています。

そして、チームHAKUTOは、開発したローバー（月面探査機）の実験場に鳥取座のプロキオンが描く「冬の大三角」が有名です。さらに、肉眼でも見える星雲や星団があること、流星群が多いこともその要因にあげられ、天体観測にもってこいの季節というわけです。

現在、鳥取市さびアストロパークが発見した小惑星は22個。そのうちの半分に近い9個の小惑星が冬に発見されていることもうなずけます。

今秋11月16日には、宇宙飛行士・野口聡一さんが宇宙へ旅立ち、3度目となる長期滞在がスタート。なんと、滞在場所の国際宇宙ステーションも肉眼で確認できるのだそうです。

そして、今冬の12月は、ちょっとした天体ショーラッシュ。6日には、小惑星探査機「はやぶさ2」がミッションを果たして小惑星リュウグウから地球に帰還予定。14日には、ふたご座流星群の活動が極大になると予想され、21日には木星と土星が最も接近して見え、町中でも肉眼で確認できるほどだといわれています。

冬こそ、星取県へいらっしやいませんか。鳥取砂丘の砂の感触を確かめながら、月に降り立った自分を想像してみる。満天の星が今にも降り注いできそうな感覚を味わってみる。もしかして、鳥取県は、宇宙を一番身近に感じられる県なのかもしれません。

砂丘を選びました。その理由は、適度な起伏を有する地形や細かい砂の粒子が、国内の砂丘で最も月面に近いから。こうして、3度HAKUTOのローバーは鳥取砂丘を走行。後に、月に送る実機ローバーに「SORATO（ソラト・宙兔）」と命名されています。

星取県は宇宙に 最も近い県かも しれません。

冬は、どの季節よりも夜が長く、一年中で星空が一番美しく見える季節といわれています。その大きな理由は、空気が乾燥しているから。それは、天体観測を妨げる水蒸気が少ないためだといわれています。もうひとつは、星の中で最も明るく見える一等星を、一年中で一番多く見ることが出来るから。冬の南の夜空でひととき綺麗に輝くオリオン座のベテルギウスと、おおいぬ座のシリウス、こいぬ



「星空MAP」公式アプリ

星取県の「星空MAP」公式アプリです。住民の皆さんが投稿したたくさんのおすすめ星空スポットをご覧いただけます。鳥取県では、2020年7月から全国に先駆け「星空予報」をウェブサイトでも毎日発信し、今後も星空を楽しむ多数のアクティビティを開催予定。星空観察を目的とするグループ等に対しては、天体望遠鏡・双眼鏡を無料で貸し出す取り組みも行っています。

輝くツヤ、 新品種のお米



鳥取県農業試験場が約20年の歳月をかけて開発したお米です。見た目が透き通り、「星取県」を名乗る鳥取県から生まれた「星のように輝くお米」であることから、「星空舞」と命名されました。ご飯のツヤが際立つ美しい炊き上がりで、しっかりとした粒感と跳ね返る食感が特徴です。冷めても美味しいので、おにぎりにもお勧め。生産者の皆様が大切に育てた「星空舞」を丁寧に精米し、お米の鮮度を保つために真空包装を行っています。

石河 英直さん



「味・産地が非常に高い、コシヒカリ系のお米です。」

鳥取県産 星空舞(300g)★
460円(税抜)

【取扱店】
○鳥取駅のおみやげ楽市
○米子駅のおみやげ楽市
○松江駅のおみやげ楽市



中嶋米穀株式会社
鳥取県鳥取市千代水4-3
☎0857-28-9220
http://www.nakashima88.com



米麴から 手造りする 酒蔵の甘酒

1865年(慶応元年)に創業した境港市の「千代むすび酒造」が、従来の甘酒をリニューアル。鳥取県の新しいお米「星空舞」と、米麴だけで手造りするノンアルコール甘酒に生まれ変わりました。日本酒用の麴菌を糀室(こうじむろ)で大切に育てた米麴を使用。米麴甘酒は「飲む点滴」と称されるほど栄養価が高いことで有名です。老舗酒蔵の技術が光る丹念な仕込みにより、砂糖では出せないお米由来の自然の甘みを堪能することができ、さっぱりとした後味で飲みやすいので、そのままストレートで、温めてもおいしく飲めます。

千代むすび 糯甘酒 星空舞 プレーン★
(194g) 276円(税抜)・(785g) 720円(税抜)
※要冷蔵

【取扱店】
○鳥取駅のおみやげ楽市
○米子駅のおみやげ楽市
○松江駅のおみやげ楽市
(※松江駅のおみやげ楽市は194gのみ)

千代むすび酒造株式会社
鳥取県境港市大正町131
☎0859-42-3191
http://www.chiyomusubi.co.jp/

米田 真さん



「ノンアルコールなので、お子様にも安心していただけます。」

青い花の ハーブティーで 心やすらぐ夜を

ナイトブルーのハーブティーは、まさに星が輝く鳥取県の夜空そのもの。この色はバタフライピーの花の天然色素によるものです。リンデンフラワーやミルクシスルなどクセのないハーブをブレンド、さらに梨のドライフルーツを加えることで、スッキリとした味わいの中に、ほんのりと甘みがあります。長めに抽出すると一層梨の甘みを感じることが出来ます。レモンなどの酸味を加えると、青からピンク紫色に色が変わり、目にも楽しいオリジナルハーブティーです。

船越 智子さん



「青色はバタフライピーの花の色。色の変化もお楽しみ！」

ハーブティー 星取県ブレンド★
12g(2g×6個) 1,000円(税抜)

【取扱店】
○鳥取駅のおみやげ楽市
○米子駅のおみやげ楽市
○松江駅のおみやげ楽市

Le Ciel deux
鳥取県倉吉市明治町1035-1
☎0858-33-5516
https://ciel.ocnk.net/

星取県産の 綺羅星

体に優しい 二層仕立の 最中サブレ



とっとり星取物語★
(6個入り)800円(税抜) (12個入り)1,600円(税抜)

岡本 優子さん



「日本の星空「星取県」のお土産として喜ばれています。」

【取扱店】
○鳥取駅のおみやげ楽市
○米子駅のおみやげ楽市
○松江駅のおみやげ楽市

有限会社岡本製菓・倉吉舎
鳥取県倉吉市駄経寺町2-16
☎0858-23-0150
http://kurayoshiya.jp

星の光のように 心に留まる手紙

星の光が数年から数万年前の輝きで届くように、遠くに住む大切な方への手紙が心に留まることを願って作られたレターセットです。鳥取市佐治町の因州和紙伝承工房「かみんぐさじ」で製作する手漉き画仙紙に、鳥取在住のイラストレーター・西淑さんが描いた「十二星座」を、一枚一枚手刷りにしています。ここまで厚みのある便箋はとて珍しく、手漉きの柔らかい質感が厚みによって引き立っています。封筒は便箋のイラストが透けて見えるように薄く仕上がっていますが、楮の長い繊維を使用しているので柔らかさの中にたくましさがあります。夜空にきらめく星座と共に、あなたの想いを手紙に込めて届けてみませんか？

田中 信宏さん



「星座に合わせた誕生日レターや、額装するのもおすすめ。」



星のたより(便箋8枚・封筒4枚) 1,200円(税抜)

【取扱店】
○鳥取駅のおみやげ楽市
○米子駅のおみやげ楽市
○松江駅のおみやげ楽市



合同会社あとあとのCOCOROSTORE
鳥取県倉吉市魚町2516
☎0858-22-3526
https://cocorostore.com/

爛れをすると 一段と旨い 純米吟醸酒

鳥取県智頭町に鎮座する諏訪神社を名の由来とする酒蔵「諏訪泉」。地元智頭町の町の花「満天星(どうだんつつじ)」を酒銘にした純米吟醸酒は、アメリカにも輸出される主力商品です。地元の酒米「玉栄」と「山田錦」を使用し、玄米を50%まで磨いて製造。約3年間の熟成を経て出荷され、やわらかな口当たりと旨味が食事を引き立てます。冷やでも美味しいのですが、55℃位のお燗にすると旨味が増して、よりまろやかに感じる「お燗上がり」の酒質を持っています。印象的なラベルの書は、青谷町在住の書家・柴山抱海さんの作品です。



純米吟醸 満天星
(300ml) 650円(税抜)
(720ml) 1,700円(税抜)

西尾 弘子さん



「日本酒の楽しみ方を、満天星から世界へ発信しています。」

諏訪酒造株式会社
鳥取県八頭郡智頭町智頭451
☎0858-75-0618
http://www.suwaizumi.jp

【取扱店】
○鳥取駅のおみやげ楽市
○米子駅のおみやげ楽市
○松江駅のおみやげ楽市



山陰のいいもの
今すぐお買い求めいただけます

おみやげ楽市 楽天 検索

※おみやげ楽市はJR西日本山陰開発(株)が運営するおみやげ店の商標です。



おみやげ楽市
楽天市場にて
「星空舞ギフトセット」も
販売しております。

